

## 令和5年度 事業計画

社会福祉法人松山会

総人口が減少する一方で、高齢者人口は増加の一途をたどっており、大分市の高齢化率は27%を上回る状況にあります。さらに、2025年には29.8%に上昇すると推測されており、福祉施設の果たすべき役割はますます重要なものとなってくる。また、大分市における高齢者のいる世帯の地域包括ケアのさらなる推進と共に、施設における機能の充実、感染症対策の整備に取り組み必要があります。

今年度は、下記に掲げる基本方針のもと、真に地域から必要とされ信頼される施設つくりを目指し、各種の施策に取り組みたい。

### I. 今年度の運営基本方針

- (1) 健全運営に向けた計画の策定、サービス事業所の見直し
- (2) 介護サービスの質の向上、意識の向上
- (3) 地域包括ケアの推進
- (4) 未来を創造できる職場環境の提供
- (5) 適切な感染症対策

### II. 法人の行動指針

- (1) 利用者に対する基本姿勢
  - ① サービスの質の向上
  - ② 人権尊重と法令遵守
  - ③ 利用者の生活環境の充実
- (2) 職員に対する基本姿勢
  - ① ポトムアップ型の組織形成
  - ② 職場環境の充実
  - ③ 適切な人員配置、適材適所の選定
  - ④ ノーリフティングケアの実施
- (3) 地域のに関する基本姿勢
  - ① 地域における公益的な取り組みの推進
  - ② 当法人の各種行事への参加を要請し事業の理解を求める
- (4) 法人運営に関する基本姿勢
  - ① コンプライアンスの徹底とガバナンスの確立
  - ② 健全な財務規律の確立

## 令和 5 年度 事業計画

軽費老人ホーム白寿苑

令和 4 年度も新型コロナウィルスが引き続き流行した期間となり、一日に報告される全国の感染者数が連日過去最多を更新し続けたことに加え更なる変異ウィルスも次々と出現し、白寿苑においても事業計画が予定どおり実行できず、感染予防のため地域との交流を自粛したり、苑内外行事を縮小変更せざるを得ない状況が続きました。

利用者様においては、昨年末より近隣施設へ買い物にお連れすることを徐々に増やしてはおりますが、流行状況を鑑みながら引き続き外出は必要な病院受診や手続きのみ、面会は正面玄関内にて短時間で済ませて頂くなど、面会外出の制限をお願いする状況が続いています。

職員においては、急な体調不良や怪我などで介助の必要のある利用者様が増加したり、コロナ禍の影響で活動量が減少したことにより認知症が進行あるいはフレイル状態に陥った利用者様の対応等で苦慮しており、少ない職員数の中通常業務に支障が出ることが増えてきました。

今後も数年間は現在の流行状況が続くと予想され、利用者様並びに職員の抱える不安やストレスは増大の一途を辿ると思われます。

しかしそういったコロナ禍の状況下にあっても、利用者様のニーズや地域社会の期待には可能な限り応えて行かなければならぬと考えます。

当白寿苑は、自立施設ではありますがほとんどの方に疾病があり、身体機能の低下等の理由で自立した日常生活に不安のある方が、現在 66 歳から 98 歳まで在苑し、介護度は自立の方から要介護 2 まで 50 名の方が生活しています。

新しく入所した方の中には、低所得、家族からの支援が望めない等の理由で独居生活が困難となった方、虐待を受け緊急避難で入所された方、重篤な疾病や精神的疾患があるも金銭的な理由や介護度が付いていない等の理由で受け入れ先がない方等も増加しております。

そういう様々な課題を抱えた利用者様のそれぞれの思いに配慮しつつ、白寿苑理念である『個人の意思を尊重し、その人らしく健やかで安心して暮らせるよう』、今後も利用者様に寄り添った支援を行ってまいります。

### ① 令和 5 年度の運営基本方針

幅広い年齢層の利用者様に対し、個々の思いを引出しその人らしく自立した生活を送ることができるよう、心と体の総合支援に取り組みます。

### ② 利用者の処遇・プライバシーへの配慮

利用者様の健康管理に留意し、医務と連携を取りながら疾病の早期発見・予防に努めます。

利用者様ご自身が自発的に自らの健康管理を行うことが出来るよう、体操や運動、脳トレ、レクリエーションなどへの参加機会を提供することで自主性を養うとともに、活動に積極的でない方にも配慮し細やかな声掛けを行って参ります。

バランスの整った食事の提供を行うことで、健康寿命の延伸に力を入れます。

プライバシーを配慮しつつ個人の思いを傾聴し、利用者間のトラブルに発展しないよう支援してまいります。

### ③ 職員待遇の充実・士気高揚策・職員研修

苑外での研修会等（WEB会議含む）の開催機会あれば、今後も各職種で積極的に参加してまいります。

苑内職員研修については、職員自らが学びたいことや解決したい課題等を持ち寄って行うことで、職員のスキルアップ及び意識改革を図り、サービスの質の更なる向上を目指します。

また、災害時や感染症発生にも対応できるよう、定期的に実態に即した訓練を行ってまいります。

### ④ 地域貢献（施設関係）等

新型コロナウィルスの流行状況を鑑みながら、盆踊り等の地区行事への参加、保育園・小中学校との交流等、地域との交流を積極的に推進していきます。

利用者様と地域との繋がりが深まるよう地域共生を意識し、慰問や各種ボランティア等を積極的に受け入れます。

### ⑤ 施設（事業）の特徴・セールスポイント

入所一時金の必要がなく、収入に応じた低額な自己負担金で生活することが出来ます。

協力病院が隣接しており、日常的な受診はもちろんのこと、体調急変時にも迅速な対応が可能です。

利用者様の意向に配慮した年間行事計画を作成し、年間を通して季節ごとの様々な苑内外行事をお楽しみ頂けます。

栄養バランスに配慮した、バラエティーに富んだ手作りのお食事をお召し上がり頂き、健康寿命の延伸を支援致します。

## 令和5年度 事業計画

特別養護老人ホーム緑風苑 本館

介護保険制度は創設から約20年を経て、総費用が3倍以上に増加。これまでにも多くの問題が生じていましたが、未だに確立されていない感染症への対応。また、少子高齢化による慢性的な介護人材の不足もあり、制度の持続可能性が問われるようになってきています。

このような状況で当事業所としましては、人材不足の時代に対応できるよう業務整理やロボット・センサー・ICTの活用、感染リスクの高い入所者（利用者）への感染対策として、日ごろからの標準予防策の徹底を図り、入所者や家族が安心でき、職員にとっても働きやすい施設を目指します。

### I. 今年度の運営基本方針

福祉施設職員として自分の行動に責任を持ち、相手を尊重し、思いやりの心と真摯な態度で業務に臨みます。

### II. 入所者（利用者）待遇・プライバシーへの配慮

入所者ご家族のニーズに合ったケアプランの作成により、その方らしい生活に寄り添い尊厳ある暮らしの支援を行います。また、個人情報の保護に配慮し質の高い支援に努めます。

### III. 職員待遇の充実・士気高揚策・職員研修

認知症、介護技術（リハビリ・口腔ケア・喀痰吸引）の向上、リスクマネジメント、感染症、身体拘束等に関する施設内外の研修会への参加及び復命書報告会の充実、各種委員会の開催や研修を通じ職員の質の向上と意識改革を図ります。

### IV. 感染対策の徹底

入所者、家族に安心して生活していただけるよう、感染対策を職員へ周知徹底します。

### IV. 施設（事業）の特徴・セールスポイント

職員の平均年齢が若く活気溢れる雰囲気の中、施設と協力病院との連携により医療・介護の両面において安心できる環境を提供します。

## 令和5年度 事業計画

### 特別養護老人ホーム緑風苑 新館

地域密着型の特別養護老人ホームは、要介護状態となつても住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで続けられることを目的とした地域包括ケアシステムの構築には無くてはならない施設サービスとなっています。そんな中、近年の生活様式や感染症対策として個室を希望される方が増えています。今後も高齢者福祉の拠点として地域福祉の充実に努め、地域住民の期待に応えられるよう施設運営を推進してまいります。

また、介護を取り巻く環境がより一層厳しくなっている状況においても当事業所としましては、自宅に居たころと変わらない生活を継続できるような入居者一人ひとりに合った個別ケアの実現を目指します。

#### I. 今年度の運営基本方針

福祉施設職員として自分の行動に責任を持ち、相手を尊重し、思いやりの心と真摯な態度で業務に臨みます。

#### II. 入居者（利用者）処遇・プライバシーへの配慮

入居者一人ひとりの個性やニーズ、入居前までの生活習慣などを細かく把握し、その方らしい生活に寄り添い尊厳ある暮らしの支援を行います。また、個人情報の保護に配慮し質の高い支援に努めます。

#### III. 職員処遇の充実・士気高揚策・職員研修

認知症、介護技術（ノーリフティングケア・リハビリ・口腔ケア・喀痰吸引）の向上、リスクマネジメント、感染症、身体拘束等に関する施設内外の研修会への参加及び復命書報告会の充実、各種委員会の開催や研修を通じ職員の質の向上と意識改革を図ります。

#### IV. 地域貢献（施設開放）等

施設行事（慰問等）の継続的な関わりを通じて、当苑での生活に心から満足いただけるよう様々な交流を図ります。また、小学校への出前講座などの交流も引き続き行っています。

#### V. 施設（事業）の特徴・セールスポイント

自宅に近い環境で、他入居者や職員と共同生活をしながら、入居者一人ひとりの個性や生活リズムに応じて暮らしていくようにサポートするユニットケアのさらなる充実を図り個別ケアの実践に取り組んでいきます。

## 令和5年度 事業計画

緑風苑 デイサービスセンターE型

身体的・精神的重度なご利用者による利用ニーズが高まっております。在宅にお住いのご利用者に安心してご利用いただけるよう、感染対策や家族支援、認知症ケアに一層励んでまいります。

### 運営方針

#### I 経営基盤の安定

法人又グループ事業所、滝尾圏域にお住いの認知症の人を中心にご利用を呼びかけるほか、市内居宅支援事業所への営業活動を行い、利用促進に努めてまいります。

#### II ご利用者の処遇・プライバシーへの配慮

プライバシーの尊重と守秘義務の遵守、個人情報の保護を徹底し、ご本人とご家族から安心して任せて頂けるサービスを継続してご提供いたします。

#### III 職員処遇の充実・士気高揚策・職員研修

職員ひとり一人がご利用者の個別処遇に携わり日々の情報を共有しながらサービスの均一を図ります。また、各種研修には積極的に参加し、提供するサービスの質と職員個々の専門性や人間力の向上に努めます。

#### IV 施設（事業）の特徴・セールスポイント

定員12名と少數の為「寄り添うケア」をモットーに、認知症対応事業所としての専門性を発揮いたします。そしてご利用者お一人おひとりの生活の質が少しでも向上するよう残存機能の維持・向上に努めます。また、食事についても経管栄養の方や療養食の方も対応可能であり様々なニーズにも対応ができます。営業日はお正月以外は全て営業し、ご利用者・ご家族様のニーズに可能な限り対応いたします。

以上のような運営方針のもと、今年度の事業を進めていきたいと考えております。

## 令和5年度 事業計画

### 緑風苑デイサービスセンターB型

令和2年からのコロナ禍開始から早や3年が経ちます。介護・福祉業界においては利用者の福祉サービスの利用控えによる弊害（閉じこもりきりになることで心身の不調や、本当に受けたいサービスを受けることができなくなっている等）や、身近での感染者発生に伴いサービスが受けられなくなるなどの影響が見られてきました。

今後は、新型コロナへの対応の在り方が従来と変化し、共存という考え方が浸透していき、向き合い方も今までとは大幅に変わってくるものと考えます。

常に動向の変化に注視し、当事業所では中重度の状態になつても、引き続き安心して住み慣れた地域での生活が出来る様、地域の高齢者的生活の拠点となり、今後の超高齢化社会に望むべく精進して参ります。

#### I. 今年度の運営方針の基本

- ① 多職種連携に努めることによりケアの質を向上させる  
情報の共有により、より充実した個別サービスを確立します。
- ② 安心、安全なサービス環境を確保し、一定の水準を維持または向上させる  
快適な利用環境の提供、また安全面への配慮を行い満足していただく環境作りに努めます。
- ③ 「ウィズコロナ」の考え方の浸透  
「ウィズコロナ」の考え方の元、国などが進めるコロナとの向き合い方を利用者及び各関係者へ情報提供を行い、基本的な感染症対策を行いながら、安心していただける利用環境の構築に努めます。

#### II. 利用者待遇・プライバシーへの配慮

- ① 利用者待遇  
サービス内容の充実を図ることで様々なニーズに対応し、質の向上を目指します。
- ② プライバシーへの配慮  
コンプライアンス遵守と個人情報の取り扱いに留意し、情報提供及び情報開示、並びに説明責任を果たします。  
サービス提供にあたっては、介護計画について十分な説明を行い、ご利用者の理解と同意を得るとともに、ご利用者の権利とプライバシーを尊重します。

#### III. 職員待遇の充実・士気高揚・職員研修

- ① 内部研修を定期実施することにより質の向上を図り、毎月開催するミーティングにて情報の共有・共通認識の徹底を図ります。
- ② 専門性の高い外部研修への参加を積極的に行います。（オンライン研修も軸にしながら）  
(制度改革や今後の動向などの勉強会、営業活動の専門性を養う研修、認知症への専門性を高める研修など)

#### IV. 地域貢献（施設開放）等

- ① 福祉に関する理解の場、地域との関わりの場、専門性の学びの場などの提供の為、基本的な感染対策を行った上、中高生や大学生、介護職員養成校などの実習・職場体験の受け入れを行います。

#### V. 施設（事業）の特徴・セールスポイント

住み慣れた地域・在宅での生活を支援するため、週1回からの利用や短時間の利用など、ご利用者・ご家族様の多様なご要望にも柔軟に対応致します。また、座位のまま入浴できる特殊浴槽の設備があることや、生活動作に大切な筋力を維持・継続する体操などによる生活機能訓練サービスを整備・充実させており、中重度の状態になつても安心してご利用いただけます。

また、社会での新型コロナに対する対応は変化しておりますが、引き続き感染症対策には細心の注意を払って参ります。外出制限などに伴う身体・精神の不調を防ぐ為にも、徐々に感染対策を行いながら社会との関わり（機能訓練を伴う外出活動やボランティアや外部者との交流など）を進めて参りたいと考えます。

## 令和5年度 事業計画

緑風苑ホームヘルプサービス

新型コロナウイルスにより社会経済環境の変化とともに、高齢者や、障害者の生活も大きく変容せざるを得ない状況となりましたが、概ね3年が経過し政府は「マスク着用の考え方の見直し等について」（令和5年3月13日以降）大きく舵を切りました。

現在も様々な社会活動が制限される状況下ですが、国は令和5年度からパンデミック前の生活に戻す計画です。当事業所としては引き続き感染症予防の徹底を図り、各関係機関と協働して利用者様の地域での生活が安定するよう支援していきます。

### I. 令和5年度の運営基本方針

- ① 感染症予防を継続し利用者様、介護従事者双方の生活の安定に努めます。
- ② 変化する状況や利用者のニーズに柔軟かつ迅速に対応できるよう、スタッフの資質向上を図ります。
- ③ 業務の効率化に取り組みます。
- ④ 令和6年度介護保険改正の情報収集および準備を行います。

### II. 接遇・プライバシー、個人情報・倫理

- ① 利用者様からの苦情・ご相談に対し、発生した原因や状況を分析し、迅速かつ適切な解決に努め、問題の改善やより良いサービスの提供に取り組みます。
- ② 利用者様の尊厳を守り、個々の能力を活かした自立支援を心掛け、利用者様及び支援するご家族等の負担軽減に努めます。
- ③ 個人情報の取り扱い、プライバシーへの配慮を徹底します。
- ④ 利用者様の異変（体調変化、虐待等）に気付く為の洞察力を養います。

### III. 職員待遇の充実・士気高揚

- ① 感染症の動向を注視しながら、会議や研修の開催方法を検討します。
- ② スタッフが安定して働く環境を整備するとともに体調管理の啓発を行います。
- ③ スタッフ個々の特性や技術の熟練度を把握し、能力向上に努め安定したサービスの提供を図ります。

### IV. 地域貢献

利用者様の地域での生活を守り、地域社会で必要とされる事業の運営を行います。

### V. 事業の特徴・セールスポイント

- ① 感染症予防を徹底し、状況に応じ柔軟な姿勢で安定した支援を提供します。
- ② 365日24時間連絡が取れる体制にて利用者様の安心に配慮しています。

## 令和5年度事業計画

緑風苑介護保険サービスセンター

私達は介護保険の基本理念を踏まえ、限られたサービスを適切かつ有効的に利用し、高齢者が安心して住み慣れた地域での生活を継続できるように支援していくなければなりません。その為には医療機関や地域包括支援センター及び介護サービス提供事業所等との、医療・介護の役割分担と連携をより一層推進していくことが求められております。中重度の要介護者も含め、本人の希望する場所での、その状態に応じた医療・介護と看取りの実施や、関係者間との円滑な情報共有を図り、多様化するニーズに対応できるよう今年度もより質の高いケアマネジメントを実践できるよう努めてまいります。

### I. 今年度の運営基本方針

介護保険制度における居宅介護支援（ケアマネジメント）は要介護者の自立支援に資する為の介護サービスや、様々な社会資源を効果的に利用できるよう支援していくものであります。ケアマネジメントを専門とする介護支援専門員にはその専門的視点から導き出された根拠のあるケアプランの作成、ご利用者、ご家族との信頼関係を構築し、ケアプランを実行する為の合意形成能力が求められています。その求めに応える為には、介護支援専門員自身が自己研鑽に努め、事業所全体としてもレベルアップを図ることで適切なケアマネジメントを実践し、その人が望むその人らしい生活の実現を目指したケアマネジメント業務を行っていきます。

また、同法人の事業所と連携を取りながら、地域貢献に努めてまいります。

新型コロナウイルスに対しては、新型コロナウイルス感染症対応マニュアルに準拠いたします。

### II. 利用者の待遇・プライバシーへの配慮

介護支援専門員はその人が望む生活を実現するために、その人が今まで生活してこられた生活背景を知ることから始まります。またご本人やご家族から様々な情報を提供して頂くことも必要になります。まずは信頼関係を築くことが重要であり、それにより本当のニーズを引き出していくことができます。

また、私たちは、ご本人及びご家族が相談しやすい環境をつくることにより、ご本人の意向に添った自立支援に向けてのケアプランを作成できるように日々情報の収集を行っていきます。契約時は必ず重要事項説明の中で守秘義務の徹底を図ることを説明し、介護支援専門員の倫理綱領に基づき個人情報の取り扱いに十分に配慮して業務を行っていきます。

### III. 職員待遇の充実・士気高揚策・職員研修

介護支援専門員は、ケアマネジメントの全過程において要介護者及び家族と深く関り、

また支援する立場にあります。ご本人やご家族より「真の想い」を引き出し、その想いに沿った支援を実践していく為には日々自己研鑽に努め、専門的な知識、技術を活用していかなければなりません。それぞれの介護支援専門員が困難な事例を一人で抱え込まないよう、職員間でのカンファレンスを毎週開催して、多職種からなる介護支援専門員が所属していることを活かし、各専門資格からの視点による意見交換を重ねております。また、近年、利用者だけでなく、家族が疾病や障害を抱えている事例や、虐待が疑われる事例など複合的な課題を抱えている事例が増えております。そのような困難事例に対しては事業所内で相談、検討するだけでなく、地域の他事業所と共同での事例検討会を開催し、様々な意見を聞くことで、自身の関わり方についての振り返りや、改善への気づきを得られるよう取り組んでおります。また、このような様々な課題に対応できるよう、専門職として把握しておくべき制度や知識を得る為、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、各種研修会や講習会などに参加し、ケアマネジメントの質の向上を図るよう努めます。

#### IV. 地域貢献

新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、法人が行う地域住民に向けての講座や啓発活動に参加するなどして地域の方との交流の機会を持てるよう努めています。ご本人及びご家族の視点に立ち、介護保険制度や今後の法改正及び地域資源などの情報提供や、要介護状態にならない為の介護予防の重要性などの啓発にも努めています。地域の方との関わりを積み重ねることで地域の皆様に信頼される身近な相談窓口となれるよう努めています。

#### V. 事業所の特徴・セールスポイント

現在介護支援専門員 9名(専任)で居宅介護支援業務を行っております。介護支援専門員の基礎資格は、社会福祉士と介護福祉士であり、内 2 名は主任介護支援専門員であります。また、他の居宅介護支援事業所で勤務した経験を持つ職員も複数おり、経験豊富な介護支援専門員による対応も可能です。急な相談にも可能な限り迅速な対応を心がけて、ご本人やご家族の不安を少しでも早く軽減できるように訪問の調整なども行います。また相手の立場に立ってご本人及びご家族を支援していくことで信頼関係を築き、その方の望む生活が実現できるように支援していきます。

## 令和5年度 事業計画

滝尾地域包括支援センター

### 滝尾地域包括支援センターを取り巻く状況、傾向について

令和5年度の滝尾地域包括支援センターを取り巻く状況、傾向として、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう「地域包括ケアシステム」の推進を図り、保健・医療・福祉が連携の取れたサービスの提供に向けて、継続して地域住民や関係機関との情報提供、情報共有等を通じたネットワークの充実に取り組む必要があります。

### 滝尾地域包括支援センターの現状、課題、対応について

地域包括支援センターの業務内容は、大別して介護予防ケアマネジメント業務と大分市より委託を受けている包括的支援事業があり、現在、7名の職員で対応しています。

包括的支援事業に関しては、それぞれ専門職が機能分担（保健師は健康増進と介護予防活動、主任ケアマネはケアマネジメント等のスーパービジョン、社会福祉士は認知症や虐待などの権利擁護）を行い、協働・連携し業務を行っています。

自立支援型ケアマネジメントを推進する為には、地域ケア会議の内容の充実、地域包括ケアシステム構築に向けての滝尾圏域における介護予防、認知症予防等の啓発活動の浸透が地域包括支援センターに期待されます。

令和4年度は、介護予防ケアマネジメント業務及び包括的支援事業に関して、新規の相談件数も増え、センター職員個々の相談対応数、担当件数、困難事例への対応数も増えてきている状況がありました。

令和5年度は、介護予防ケアマネジメント業務及び包括的支援事業の円滑な対応を図る為、今後も7名体制で、地域包括支援センター業務のさらなる充実と地域包括ケアシステム構築の推進に努めます。

### I. 今年度の運営基本方針

地域包括ケアシステム構築に向けて、令和5年度大分市包括的支援事業方針に基づく総合相談支援業務、権利擁護業務、認知症対策事業、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、介護予防ケアマネジメントの実施に努めます。

大分市包括的支援事業においては、計画的、継続的、積極的に展開し、大分市のみならず他の地域包括支援センターからも高く評価される取り組み、実践を図ります。

### II. 利用者への対応・プライバシーの配慮

公正・中立的な運営とプライバシー保護の観点から、滝尾圏域の情報収集に努め、

地域に対し公平かつ適切な情報提供を行うとともに利用者の個別ニーズや同意による適正なサービス提供事業者の紹介に努めます。

個人情報保護法の厳守と周知徹底を図るとともに、研修の機会を確保し、地域包括支援センターの目的、役割、公正中立の運営についての知識、考え方の周知を図るよう努めます。

### III. 職員待遇の充実・職員研修

地域包括支援センター業務においては、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員の資格を持つ職員が配置されていますが、単に資格、人員要件を満たすだけでなく、幅広い知識と専門性を持ち、利用者へ適切な支援、業務が遂行できるよう常に研修、教育の機会を設け、個々の職員の質の向上とスキルアップを目指します。また、学んだ知識や情報を職員間で共有し、職員全員のレベルアップを目指します。

### IV. 地域への取り組み

民生委員定例会、地区社協など地域の関係団体が開催する会議には進んで参加し、滝尾圏域の高齢者の実態把握や包括支援センターの活動に協力していただくよう努めます。

滝尾圏域のケアマネジャーや医療関係者、地域の関係団体の方々と連携を深める為の会議を開催し、地域課題の把握、検討、解決に向けて対応するとともに、滝尾圏域の地域資源の紹介、さまざまな情報提供を適宜行うように努め、年2回の広報誌の作成及び滝尾圏域全戸の回覧を目標にします。

地域のふれあいサロンや老人クラブ、健康教室等に出向き、滝尾圏域の高齢者の総合相談窓口として、地域住民への周知をさらに広げるとともに、地域資源の紹介、介護予防教室の開催、認知症サポーター養成講座などの講義、講演を圏域で実施していきます。

### V. 滝尾地域包括支援センターの特徴

滝尾圏域に住む方々が、住み慣れた地域で安心して生活ができるように、各職員が、保健・医療・福祉・介護保険関係機関のみならず、滝尾圏域の社会福祉協議会、民生児童委員会、自治会などの地域組織と連携を図り、適切かつ多様な支援の提供を行います。地域の情報の収集及び提供、コミュニケーションを積極的に行い、滝尾圏域の方々にとってより身近な相談窓口として今後も活動、対応するように努めます。

## 令和5年度 事業計画

紅葉苑デイサービスセンター糸

紅葉苑デイサービスセンター糸では、令和4年度各事業所への営業や自宅療養者の再開もあり年間利用者数、2872人一日平均9.3名にて年間の目標を達成しました。利用者や職員の新型コロナウイルスの感染の影響もなく、職員が一致団結し利用者の体調管理や感染防止対策を徹底した結果だと考えます。

現在、利用者や家族のニーズに応じて令和5年度より日曜日営業を開始することに至りました。利用希望に対応し、かつ外部の利用者を新たに掘り起こし、開始当初は数名ですが、今後は利用者が増えていくことが期待できます。

昨年度に続き感染予防対策を徹底した環境の下、利用者や家族に安心してサービスを利用して頂くよう努めてまいります。

他事業所との競合は勢いを増しており、数ある事業所から紅葉苑糸を選んで頂けるよう、ご家族や担当ケアマネジャーと日々連携や情報共有を図り、利用者満足度の向上に努めています。

### 1 今年度の運営基本方針

自立支援を念頭に置き、利用者の方が何を望み、どのような援助が必要なのかを把握し、利用者個々へのケアを職員全員で図っていき、円満な在宅生活の継続と利用者数12名の確保に努めています。

### 2 処遇・プライバシーへの配慮

利用者や家族の方々に、援助の方向性について可能な限りの理解を頂き、何事にも楽しく参加出来る援助を増やしていきたいと思います。併せて、利用者各々の尊厳や安全性に配慮する個人情報保護方針の下、総合的なサービスを提供していきたいと思います。

### 3 職員待遇の充実、志気高揚策、職員研修

認知症という、脳の病気への理解や知識の修得により、援助者としての自信や今後のスキルアップに繋げていけるように努め、全職員が協力して大きな器づくりを実現させていきたいと思います。

### 4 事業の特徴、セールスポイント

利用者の意思と家族や介護者の希望を可能な限り実現させ、心身の安心と日常生活の維持を援助するデイサービスとして介護を実践していきます。困難な状況や個々の諸問題に対しても常に対応を図り、これから暮らしをサポートしていきます。

## 令和5年度 事業計画

### 紅葉苑デイサービスセンターこころ

令和3年から新型コロナウイルスによる営業自粛や制限、コロナ禍でご利用者側サービス利用の自粛などの状況によって、利用率の減少が大きく見られました。

これに対しコロナ禍での運営上、様々な諸課題への迅速な対応がいかに重要なかを感じ、大幅な減少を水際で止めながら目標に近い数字で運営をしてまいりました。

令和5年度は、コロナ禍で地域での活動量が減少しているご利用者にとって、当センターが活動の場を提供する役割を一層担い生活機能・運動機能の維持を目指し、徐々に再開されている地域活動へご利用者が参加できる様、機能強化維持のサポートに努め継続した感染症予防対策を徹底しご利用者から安心・安全にご利用頂けるよう努めて参ります。

今後も当センターが法人内の受入窓口としての役割を果たせるよう各事業所と連携を図りながら、地域の介護予防拠点として機能を発揮できるよう繋げていきます。

#### I. 今年度の運営方針

- ① サービス内容を充実させるとともに、職員の資質向上を目指す
- ② 利用者、家族のニーズを全職員が把握し、目的に沿ったサービスを提供できる
- ③ 介護の窓口を担う事業所として、利用者の各ニーズに応じた制度、サービスの紹介を行う

#### II. 利用者の待遇・プライバシーへの配慮

- ① 利用者に対し敬意を込めた心からの接遇を身に付ける
- ② 利用者情報の共有と守秘義務の徹底を行う

#### III. 職員待遇の充実・士気高揚策・職員研修

- ① 職員が目標を設定しスキルアップをはかれる風土をつくる
- ② リモート研修への参加も含め、さらなる充実をはかり質の向上を目指す

#### IV. 地域貢献

- ① 地域行事やボランティアに参加する
- ② 地域を介護相談窓口として相談があれば親切に安全な環境で対応する

#### V. 事業の特徴・セールスポイント

- ① 歩行浴・マシントレーニングによる機能訓練が実施できる点
- ② 自己選択型サービスが実施できる点
- ③ 活動を通して社会交流が行いやすい環境にある点

## 令和5年度 事業計画

紅葉苑ホームヘルプサービス

紅葉苑ホームヘルプサービスは、有料老人ホーム紅葉苑の入居者を主な対象として運営をしています。昨年度は入居者の長期入院者増加によるサービス休止と、お亡くなりになられた方々の支援終了が多く、支援数が減少しています。令和3年度に続き、コロナ禍の対応による面会や外出等の制限は、入居者の精神的ストレスや不安感を増長させ、生活が不活発になる諸問題を多くうみました。令和5年度は新型コロナウイルスの変化する状況を踏まえたうえで、諸課題に対応することが求められます。

そこで今年度はこれまでの経験を活かして、入居者の精神的・身体的な変化にいち早く気付ける様に、また入居者の方が健康的に安心して生活を送れる様に、支援を展開してまいります。また、ご家族とケアマネジャー及び関係者機関と今以上の情報共有と連携を図り、変化していく時代背景に沿う更なるプランの個別性を追求し、自立支援に従事することを大きな目標とします。こうした支援の在り方と真摯に向き合うことは入居者の方が心身の健康を維持し、しいては支援継続にも繋がり経営にも直結します。このことを念頭に令和5年度の事業を展開してまいります。

### I. 今年度の運営基本方針

- ① 利用者一人ひとりに最適で充実したサービスの提供

### II. 利用者の待遇・プライバシーへの配慮

- ① 守秘義務を徹底する
- ② 適切な態度、言葉遣い等の接遇を徹底する
- ③ 日頃からコミュニケーションを図り、利用者に頼られる存在になる

### III. 職員待遇の充実・士気高揚策・職員研修

- ① 毎日の申し送りノートで伝達事項の確認を行い、全体での情報の共有を図る
- ② 每月1回ヘルパー会議を開催し、各種勉強会を実施するとともに支援内容の確認及び問題点の解決方法について検討する
- ③ 支援時の事故防止策を話し合い、実行する

### IV. 事業の特徴・セールスポイント

施設内に事業所があるので、①利用者に緊急時でも安心感を与えることができること、②柔軟な対応ができること。③利用者と毎日接し、体調の変化に早く気が付くことができるこ

## 令和5年度 事業計画

有料老人ホーム 紅葉苑

大分市基本計画によると、令和5年現在の本市における65歳以上の高齢者人口は137,325人、高齢化率は28.8%となっています。介護保険制度が創設された平成12年（高齢者人口62,231人、高齢化率14.2%）と比較すると、高齢者人口・高齢化率とも2.2倍となっています。高齢者急増のためか本施設においても多くの入居希望者がおられ、また開苑当初入居者平均年齢は80.6歳でしたが、今では87.5歳（令和5年3月現在）とかなり高齢化が進みました。そのため入居者の中には自立自助だけでは生活困難な方も出てこられました。そこで本苑はだいかく病院を始めとする関係施設と常に強い連携をとりながら入居者支援体制をとっています。その体制のあり方とヘルパー・有料職員による入居者対応の良さは家族の方からも強い信頼を得ています。これらのこととは、職員一同嬉しい限りです。そんな思いを基に、私たちは入居者にでき得る限りのお世話をさせていただければと思い続けています。

そこで今年度の目標として、紅葉苑運営規程に基づき「入居者が安心して生活ができ、そのご家族は安心して預けることができる施設」を掲げ、入居者とご家族に種々の提案と工夫を重ねていく所存です。

### I. 今年度の運営方針

- ① 入居者に安心して生活して預ける施設を目指す
- ② 家族の方と連携を密にとる

### II. 入居者待遇・プライバシーへの配慮

- ① 入居者個々を尊重し、プライバシーの保護向上を図る
- ② 接遇・個人情報配慮等に関する職員研修を実施する
- ③ 入居者と家族から必要に応じて、個人情報承諾書を受ける

### III. 職員待遇の充実・士気高揚策・職員研修

- ① コミュニケーション能力・カウンセリング能力等の向上を目指した定期的内部研修を行う
- ② 職員の士気高揚と資質向上に繋がる職員会議と学習会を行う

### IV. 地域貢献（施設開放）等

- ① 施設自らが持つ人材や施設・設備などの資源を活用し、地域の児童・生徒などが学習活動などで地域活性化をする拠点の1つとなる
- ② 地域の方が住み慣れた滝尾地域でできる限り健康で安心して生活できるよう種々の地域協力をしていく

### V. 施設の特徴・セールスポイント

- ① 掃除のいき届いた清潔感あふれる施設
- ② 生活圏内にある便利な施設
- ③ 接遇力のある職員と入居生活に楽しみのある施設

## 令和5年度事業計画

なかよしパンビーノ保育園

職員の福利厚生事業として、事業所内保育事業を運営して8年目を迎えます。

令和4年度も前年度に引き続き、厳しいコロナ禍の中、感染予防のため園内外での行事等が縮小・中止となり、子どもたちへのストレスが危惧されているところです。限られた空間の中で子どもたちがストレスなく充実した生活が送れるよう新たな保育内容の提供を考えいかなければなりません。

資金面では、令和2年度から児童育成協会からの助成金給付額が約半分となり、年間の運営資金が不足する状況となっております。そのため、令和4年度の途中から保育園専属の事務員を雇用することで得られる連携推進加算を取得しながら、資金不足解消と運営継続に努力しているところです。

当事業は福利厚生事業であるため、預かった子どもたちの安全と職員の安心のために運営することを目的としています。令和4年度より継続して預かる子どもたちと令和5年度に入園してくれる子どもたちが健やかに安全な園生活が過ごせるよう事業を運営して参ります。

### 令和5年度 運営基本方針

- ①子どもの安全を第一とした保育を行う。
- ②月齢に沿った保育内容を提供し、子どもの知育の発達・体力の向上を促す保育を行う。
- ③職員に安心を感じてもらえる職場環境を整える。
- ④職員の福利厚生をこれまで以上に充実したものとする。
- ⑤地域枠により近隣の保育環境に貢献する。

### 令和5年度 運営計画

#### 保 育

- ①子どもの安全を第一に考え、保育士が安心して保育が行えるよう環境整備に配慮する。
- ②新型コロナウイルス感染防止対策として、手洗いや消毒、換気といった基本的な対策に加え、飛沫感染や接触感染、さらには近距離での会話への対策など「新しい生活様式」を可能な範囲で園生活に取入れる。
- ③子どもの外遊び等が限られる中、身体機能を高めるための健康教育に取組む。